

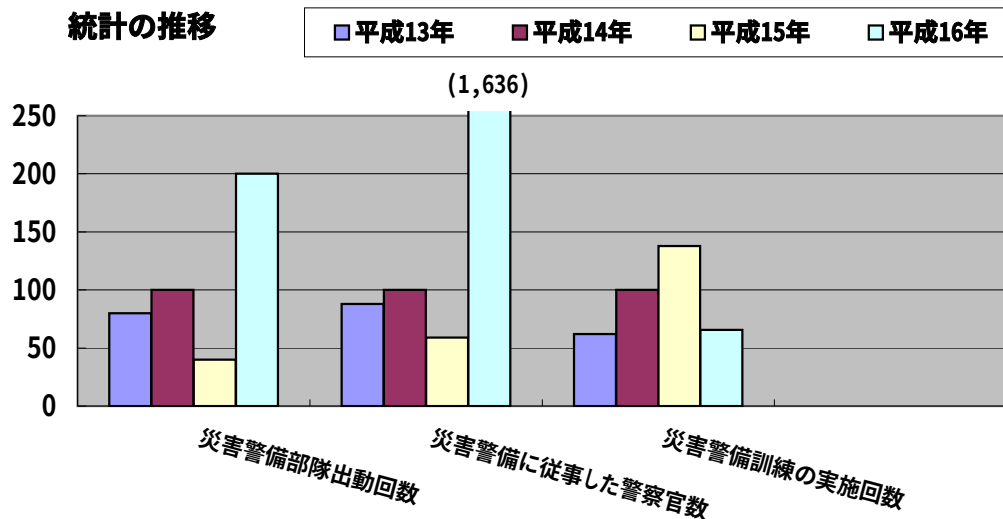
業 務 名

防災対策の推進

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
災害警備部隊出動回数	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	8	10	4	20	回
災害警備に従事した警察官数	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	552	628	370	10,273	人
災害警備訓練の実施回数	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	18	29	40	19	回
	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位

統計の推移



<グラフは、平成14年を100とする指数で表した。>

○業務の主なコスト

№	事業名	平成16年度事業費(千円)	平成17年度事業費(千円)
1	災害警備対策費	121,444	89,058
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
合 計		121,444	89,058

○平成16年の取組み

●台風21号や紀伊半島沖・東海道沖の地震等により、死者9名、行方不明者1名、負傷者26名の人的被害とともに、床上浸水や崖崩れ等による建物被害も数多く発生したが、これらの自然災害の発生に際して、気象警報の発令や被害の発生状況に応じて警察本部及び各警察署に災害警備本部を設置し、災害警備活動を実施した。

●災害警備訓練の実施については、「三重県警察総合防災訓練」（警察本部及び各警察署）を実施するとともに、「三重県総合防災訓練」、「各市町村防災訓練」等の関係機関が実施する防災訓練に積極的に参加し、連携強化を図った。

●「三重県警察総合防災訓練」の一環として、陸上自衛隊久居駐屯地から講師を招いて災害時における自衛隊の活動についての教養を行うなど、職員の災害対策への意識の高揚に努めた。

●大震災時に、警察活動の拠点となる警察施設の耐震化工事（桑名・尾鷲警察署）を行うとともに、災害現場で必要な救出・救助資機材の整備・充実を図った。

○課題を踏まえた平成17年の取組み

●昨年中の災害対応を踏まえて、防災関係機関が有機的に災害警備活動を実施するため、一層の連携強化を図りつつ、各種防災対策の推進強化に努める。

●昨年に引き続き、警察活動の拠点となる警察署の耐震化を講じるとともに、装備資機材の整備・充実など防災体制の整備を図る。

●災害警備訓練として「中部管区警察局広域緊急援助隊合同訓練」（11月・福井県）のほか、「三重県警察総合防災訓練」等実戦的な訓練を実施する。